

# 平成26年度 学校評価実施報告書

学校名( 京都市立西院中学校 )

## 1 平成26年度 重点評価項目

1. 確かな学力の育成    2. 豊かな心の育成    3. 健やかな体の育成    4. 学校独自の教育

## 2 1回目評価

重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定						自己評価		学校関係者評価	
						評価日	平成26年8月26日	評価日	平成26年10月23日
						評価者・組織	学校評価委員会	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果		分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評価に よる意見	学校関係者評価に よる意見
1	確かな学力	基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用を図る教育  言語活動を取り入れた授業改善  総合的な学習の時間の充実	・朝読書の完全定着と毎月の読み聞かせ実施 ・年三回の研究授業の実施  ・各教科での言語活動の充実 ・各教科で発表会等の双方向での言語活動  ・体験を通じた活動からアウトプットする授業の工夫(ポスター発表など)	・全国学習状況調査の「読書は好きですか」「400字詰め原稿用紙2～3枚に書くことは難しい」 ・全国学習状況調査の「1, 2年の時に受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていた」 ・全国学習状況調査の「総合的な学習の時間」では「課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなど取り組んでいるか」	⇒	・地道な毎日の朝読書を含め様々な言語活動により生徒間の相互意見交換が活発な授業展開ができ、学習確認プログラム・全国学力学習状況調査の結果にも効果が出てきている。特に国語・数学の教科に於いて顕著に効果が出ている。 ・「家庭で復習している」生徒の割合が目標の90%に達していることから、自ら進んで学習にも取り組めるようになってきている。しかし、「家庭で先行学習(予習)をしている」生徒の割合が26.5%で80%にも達していない。	・授業の中で仮説を立てた理由を述べよう取組をさらに充実させる。  ・予習の出し方・量について工夫・検討して、先行学習を定着させ、習得から活用までをめざす。  ・全国学力・学習状況調査の好結果を支えている要因である「自ら取り組む姿勢」を育てるための3年間を通じた学習の連続性の整備に努める。	⇒	・落ち着いた環境で学習に取り組めているように感じる。  ・きめ細かな教育をするためには、現状の教職員数は十分なのかどうか質問。  ・予習についても、やっている生徒が26.5%が低いのかこれでもよくやっているのか判断が難しい。  ・「西院の子は西院で育てる」という気運を絶やさず、学力の土台作りにつながる取組(読み聞かせや地域と連携した総合的な学習など)の支援をより活性化していきたい。
2	豊かな心	人権を尊重する心の育成  学校規律の醸成  自己有用感を感じさせる取組充実	・道徳特別活動・総合的な学習の時間の工夫  ・毎朝の全職員によるあいさつ・声かけの取組  ・G(グリーン)G(グリーン)H(ハートハート)活動の取組 ・全教育活動に於いて生徒による自主企画・自習運営による手法の徹底	・全国学習状況調査の「総合的な学習の授業で学習したことは、普段の生活に役立つか」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」 ・全国学習状況調査の「学校の規則を守っていますか」 ・全国学習状況調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」	⇒	・「今住んでいる地域の行事に参加している」と答える生徒の割合は全国と比べて高いことや、「地域や他人の役に立つ人間になりたい」と思っている生徒の割合が高いことなど取組の成果が見られる。  ・生徒の自主企画・自主運営による様々な活動を通して、クラス・学年・縦割り集団等でのまとまりが、本校の中にできている。	・さらに、意義をしっかりと持たせた体験活動やPTA・地域との協働活動で感じたことを、自らの言葉で表現する場を充実させる。  ・規範意識の醸成については、生徒会活動と連携しマナー向上へ向けた取組をすすめる。	⇒	・生徒や保護者のアンケート結果を見ても、良い結果である。しかし、学校として内包されている問題点などについての課題はどうか、学校が気になることはないのか。  ・生徒は、本当に気持ちの良い挨拶をしてくれている。
3	健やかな体	基本的な生活習慣の確立  運動する機会の充実と体力向上	・早寝・早起きや携帯・スマホの弊害についての呼びかけ  ・生徒全員入部制の部活動の充実 ・学年スポーツなど企画	・全国学習状況調査の「どれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメールをしますか」 ・部活動参加状況の結果	⇒	・朝のスタートを気分良く始めることができる割合について90%以上を目指したい。  ・体を動かすことが好きな生徒の割合は高まっている。	・保健室だよりや学級だより・学校だより等でも積極的に健康的な生活について、啓発する。また教職員全員による朝の挨拶や声かけは大切にしていこう。  ・体育的行事についても、生徒による自主企画・自主運営の手法を使い、意欲的に取り組めるようにしていこう。	⇒	・スマートフォンの弊害は認識しているが、まったく利用させないのはいかなにか難しい。  ・特に、スマートフォン等の危険性・依存性を認識し、西院地域で育てている子どもにとってどのように指導していくべきか検討を進めていきたい。
4	独自の取組	小中一貫教育の推進  家庭・地域・学校(保幼小高)との連携	・小中合同授業研修会の実施  ・「西院デイズ」の実施 ・西院ふれあいコンサート(保・幼・小・中・地域参加)の実施 ・校区の保育園・幼稚園児を招いたコンサートの実施 ・西院ふれあい祭りへの参画  ・キャリア教育(国際理解教育含む)の充実	・小中合同研修会の実施回数  ・実施形態について  ・地域が一緒になって子育てをしているという意識を持っている	⇒	・「小中の授業内容を参観し、それぞれの発達段階に応じた工夫を理解した上で、意見交換をすることができた」という声が多かった。  ・保幼小中連携については、9年間の義務教育だけでなく、校種を超えて、ともに0歳から15歳までの地域の子どもの教育することができている。	・小中学校の教諭の兼務発令や英語活動の連携などをきっかけにさらに小中一貫教育を進めていきたい。  ・本校独自の西院小中学校運営協議会や長い伝統を持つ西院青少年育生連絡協議会から、学校への建設的な意見や評価をしてももらえるような情報発信を行い、学校教育に生かしていきたい。  ・西院保幼小中連携項目「目指す子ども像」ポスター	⇒	・おおむね小中学校の連携はとれている。  ・地域との連携、協働という意味でも、小中学校ともにホームページを頻繁にアップしており、学校の様子がよくわかる。しかし、ホームページには犯罪が有り、ホームページだけに偏った発信には、気をつけてほしい。